

東松戸病院が2024年3月末をもって廃止と市が議会で発表

緩和ケア病棟が提供する医療は市総合医療センターに移管

最大の廃止理由は病院経営の財政難

松戸市議会 9月定例会開催中の9月22日、臨時で開催された市議会全員協議会の場で、2024年3月をもって市立福祉医療センター東松戸病院（以下、東松戸病院）を廃止すると市が発表しました。今後は、市が示す廃止案をもとに、市議会や市民からの意見を聞きながら、計画案をまとめていきたいとしています。

廃止を決定した理由について、市は、財政難と施設の老朽化だと説明しました。収入が伸び悩み、かつ、利益率が低いことで民間病院が敬遠しがちな医療も担っていることから、赤字は恒常化しています。近年では、市の一般会計から毎年5億円程度の繰り入れ（赤字補てん）

を受けており、厳しい経営状況が続いてきました。また、建設から50年以上が経過していることで、事業を継続するならば建て替えも視野に入れる必要もあります。しかし、これから東松戸病院の収益構造が好転する見込みが立たないことから、廃止を決定せざるを得ないと担当課は説明しています。



急な発表に患者からは戸惑いの声も

東松戸病院は、もともとは国の療養所としてスタートした施設です。国からの払下げの要請を市が受ける形で、1993年に開設しました。以来、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟など合わせて181床を有するとともに、併設する介護老人保健施設・梨香苑50床とともに事業を展開してきた施設です。特に近年は、緩和ケアへの取り組みにも積極的で、現代の終末期医療を支える一面もありました。

それだけに、患者や地域住民からは、急な廃止決定の発表に、戸惑いの声も上がっています。また、市からの正式な発表の前に、一部の新聞が大々的に報道したことに対しても、市の情報管理の甘さが指摘されているところです。ともあれ、地域医療のあり方に影響を与えることが確実な東松戸病院の行く末に、今後、大きな関心が寄せられることは必至で、市の適切な対応が求められていくでしょう。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94